

北海道森林管理局交渉(全国林野関連労働組合北海道地方本部)
議 事 要 旨

1. 日 時 令和2年3月24日(火)18:10~19:00

2. 場 所 北海道森林管理局 第2会議室

3. 出席者

北海道森林管理局

川脇多久男 総務企画部長

舘 泰紀 総務課長

牛尾 光 業務調整課長

浅田 正幸 総務課企画官

福井 敬育 総務課課長補佐(総務)

池田 博美 総務課課長補佐(福利厚生)

全国林野関連労働組合

北海道地方本部

兼子 公博 執行委員長

外山 保浩 副執行委員長

神成 武彦 書記長

澤田 友和 執行委員

倉井 豊 執行委員

伊塚 陽一 執行委員

中村 雅幸 執行委員

三木 史郎 執行委員

4. 交渉事項

(1) 事業実行等に係る勤務条件について

(2) 職員の安全確保について

組合) 空席ポストが解消しない中で、一般職員が担当業務として丸抱えで対応している実態など、職員一人ひとりの業務負担が増えていることから、管理職員による適切な指導・調整を徹底し、職員の業務負担の軽減を図ること。

当局) 円滑な業務運営にあたっては、署長等のリーダーシップの発揮が重要であるとの認識の下、機会あるごとに指導しているところであるが、現状は署によって若干の温度差があること、グループ制における業務運営についても、グ

ループ全体として横のつながりによる業務の推進ということが進んでいない実態もあると考えているところである。

引き続き、あらゆる機会を通じて、署長等に対しては役割と責任を自覚した対応を指導し、グループ制が十分に機能し、各業務の円滑な実行に努めて参りたい。

組合) 業務量が増えている状況の中、業務を円滑に進めるためには、非常勤職員に頼らざるを得ない職場状況にあるが、署等においてはハローワークに出しても応募がないなど、その確保にも苦慮し、結果として職員への負担が増大していることから、非常勤職員の確保に向けて対策を講じること。

当局) 署等においては、ハローワークに公募しても応募者がいなく、今年度においても非常勤職員を確保できなかった状況も聞いているところである。

現在、来年度の募集を進めているところであることから、4月以降、署等の情報を把握しながら分析を行い、対策を検討していきたいと考えている。

組合) 蜂刺され防止対策を進めているが、防蜂網の完全着用に向けては安全指導が不十分な実態にあることが明らかになったことから、改めて指導を徹底すべき。その際、蜂の活動時期における業務運営等の対応も局全体で検討する必要があると考えており、今後に向けた対応姿勢を明らかにすること。

当局) 蜂刺され防止対策における防蜂網の完全着用について、その受け止めや認識に違いがあることが明らかになったことから、改めて完全着用に向けて指導を行っていくとともに、林内作業であることから、局全体としての取り組みとして進めていきたいと考えている。